

## ながくら里山まつりの開催について

去る10月19日、澄み渡る青空のもと、一関市萩荘長倉地内の「ながくら美しい里山」において、ながくら里山まつりが開催されました。

この行事は、ながくら地区里山づくり協議会（会長三浦昭）、特定非営利活動法人須川の自然を考える会（理事長熊谷健）、岩手県緑化推進委員会西磐井地区協議会との共催で開催し、このような運営になって3年目を迎えました。

午前中は、隣接する一関市有林での間伐・枝打作業を行いました。指導林家の千葉康生さんから、作業の説明、安全指導を受けたあと、間伐木の選木から行い、参加者は間伐の手ごたえを感じているよ

うでした。

お昼は、地元長倉産の新米で餅つきを行い、あんこ餅、えび餅、お雑煮にして、つきたての餅のおいしさを味わいました。

午後は、森の達人である千葉康生さん、佐藤好さんが講師となり、展望台まで歩道を散策しながら、自然観察を行いました。展望台では、残念ながら、須川岳は霞んで見えましたが、親切丁寧な指導がたいへん好評でした。

今後は、森林整備作業の時間をもう少し長くするようにし、「来年も参加したい」という声を励みに、里山の良さを味わえる行事として続けていきたいと思えます。

